

# 農業、食料生産(生産物、生産量、技術、輸送) 「我が国の農業や水産業における食料生産」①

アプリ

ムーブノート

ねらい

地図帳の基礎的資料から、主体的に情報をとらえて米の生産量を表す地図を作成し、日本の国土の特徴と米作りの関係を掴む

## STEP 1

- ・本時のめあて、流れ、自分の班の担当地方を確認  
(北海道地方+東北地方、中部地方、関東地方、近畿地方、中国地方、四国地方、九州+沖縄地方の7つを班に割当て)
- ・地図(ムーブノートカード)に転記する地図帳ページ、内容を確認
- ・ムーブノートのスタンプ機能の操作方法を確認

▶ 使い動画 [スタンプ集計のカードの作り方・回答方法・集計方法](#)

## STEP 2

◆ めあて：米の生産量都道府県マップを自分達で作成し、都道府県ごとの生産量の違いを読み取ろう

〈活動①〉

- ・班ごとに担当地方に分かれ、担当地方の中で1人1県担当を決めカードを作成
  - 〈作成するカードの内容〉
  - ・米の生産量に合わせた色のスタンプを該当する都道府県の場所に配置(生産量は地図帳巻末資料生産量一覧より確認)
  - ・その都道府県で生産される米の銘柄、担当地方(県名)、出荷量などの特徴
  - ・生産量ごとに地図に置くスタンプの指定色
- 50万トン以上:赤  
40万トン以上:オレンジ  
30万トン以上:みどり  
20万トン以上:青  
20万トン未満:黄色



【活動①配付したカード】  
地図:<https://www.irasutoya.com/>

〈発問〉「集計された日本国土の地図を見て、どんなことに気づきますか。」

〈回答〉「寒い地域の方が生産量が多い」「日本全国どの地域でも米が生産されている」

〈活動②〉

- ・Google Earthを開き、自分が調べた地域、活動①のカードを見て気になった地域を検索し、空から見た水田の様子を確認→気づいたことをムーブノートの2枚目のカードに記入し広場へ提出



【活動①スタンプ集計後の状態】

〈発問〉「空から見た水田の様子を見て、どんなことに気づきますか。」

〈回答〉

- 「鬼怒川が近くにあるから、ここから水田へ水を引いているのではないと思う:栃木県」
- 「生産量が少ないのは、山が多いためではないかと思った(水田も少ない):山口県」
- ・米作りに必要な水(河川)の近くに水田があることなど、国土の地形と米作りの産地に関係があることを確認



【活動②配付したカード】

▶ 使い動画 [基本的なカードの作り方・回答方法](#)

## STEP 3

- ・空から見た水田の様子について「耕地整理」の言葉を確認
- ・2学期以降の学習でも、同様の地図作りを行うこと、地図から読み取りをしていくことを確認